



アクト

第4号

2008年7月15日発行

九州国立博物館を愛する会

大暑の候となりました。皆様、ご健勝にてお過ごしのことと思います。

ぐんぐんと延びゆく雲の峰のあり 高浜虚子

上記の句のように力強く夏を乗り切りたいものです。

去る6月1日(日)、九博を愛する会は第1回の通常総会を開催しました。熱心な審議を経て総会議題は可決承認され、平成20年度の活動のスタートとなりました。

各委員会は、早速会合を重ねて各事業活動の内容検討に取り掛かっています。その中で、夏の事業については以下のことを計画しています。

7月26日(土) 夏季例会 暑い中ですが、ご出席の程お願いいたします。

9月9日(火)~12日(金) 台湾故宮博物館の旅 申し込み受付中です。

9月25日(木) 太宰府古都の光、同27日(土) 大宰府政庁まつり 愛する会は、九博と協力して灯籠のオブジェ、影絵、その他手作り教室などをいたします。25日は18:00頃九博で、27日は昼すぎより政庁跡で活動しています。どうぞ見に来てください。

ごあいさつ

九州国立博物館を愛する会理事長 前田 和美



昨年6月25日に九州国立博物館を愛する会は多くの市民の期待と関心の中、誕生しました。設立後、愛する会は九博と市民の「かけはし」に成るべく多くの事業に取り組み内外に高い評価を得る事ができました。その中でも、ピッカ美化隊の活躍、広報誌アクトの定期発行、3月には第12回九博デーの開催など多くの事業を行いました。また11月に第1回の「世界文化遺産と博物館を訪ねる旅」で中国文化交流団を組織し、34名の会員の参加で大きな成果を残しました。会員数も当初目標100名でしたが、すでに150名を大きく上回り、このことは愛する会に対する期待の大きさの表れだと思います。この様に多くの成果を残す事が出来たのは、市民の皆様のご理解、ご協力と会員の熱意の賜物と感謝いたします。本年度は去年の成果を踏まえ、九博を愛する会の目的である「九博を愛するものが集い、より身近で親しみのある博物館の発展を願い」また、「九博をシンボルとした地域連帯とこれに必要な人材育成につとめ、地域発展と文化の向上、並びに交流による相互理解に寄与する」を再度認識し、九博がこの地の文化振興の中心地となり、博物館を通し「歴史豊かな街づくり」「価値のある精神をもつひとづくり」を目指し、邁進していきます。会員の皆様、何卒本年もご理解いただき、昨年同様ご協力いただきますようお願い申し上げます。



平成20年度 第1回 通常総会



6月1日（日）記念すべき「第一回通常総会」が委任状を含め100余名の参加者により開催されました。前田勝一郎理事の司会により、深田副理事長の開会の辞に続き前田理事長の挨拶があり、活動の報告と共に本年度の目標として会員の倍増という目標が掲げられました。「愛する会」の活動をより一層充実させると共に九博や他の様々な組織・団体と協働して、文化財を中心に据えた「まちづくり」「ひとづくり」への意欲を示されました。

続いて井上太宰府市長・原田衆議院議員・楠田衆議院議員の祝辞があり、その後議長選出で前田理事長の議長の下、議案審議が始まりました。

<第一号議案 >

土師専務理事より平成19年度の事業並びに会計報告があり承認されました。その後、福山漢治・前田利輔 両監査役から監査報告があり、貴重なアドバイスがありました。

事業監査：発足初年度として事業は順調に推移し処理されている事を認めます。

- <今後の課題>
1. 活動予算確保のためにも計画的な会員の拡大を行うこと。
 2. NPO法人等公共的な資格を有する組織化を検討する。

「九博を愛する会」は民間の団体として地域に大きく寄与する可能性を持っている。予算表を見ても0が一つ足りないのではないかという気がする。活動をより発展させるためにも財源の確保としての会員、法人会員を拡大する努力を是非して頂きたい。個人会員は勿論、法人会員も30社から50社くらいに拡大して頂きたい。



会計監査：現金、預金、帳簿および伝票を照合し、綿密な監査を行った結果、会計は正確にして妥当に処理されており、会計報告に記載の通り相違ない事を証明します。

- <今後の課題>
1. 入出金処理の迅速かつ適正な方法を検討する。
 2. 事務と財務の一体的な取り組みのため、事務局体制の確立を急がれたい。

事務処理などを迅速円滑にするために、専従の事務職員及び事務所を設けられる事をお勧めする。また、事業目的の修練と事業拡大に伴う収入源の確保を考える。また、バッチなどのシンボルも必要ではないか？

<第二号議案>

吉村事務局長より、会費納入の確認と新役員の紹介と共に「九博を愛する会」の新執行部体制の紹介がありました。

その後、前九博副館長でおられた光安相談役から役員代表挨拶がありました。

<第三号議案>

土師専務理事より平成20年度の事業計画案と予算案が提出され承認されました。

その後、川添交流委員会委員長より9月の交流委員会事業「台湾故宮博物館研修旅行」の案内がありました。詳細は後の<掲示板>に載っています。

15分あまりの休憩の後、木村哲也新九博副館長の講話を頂戴いたしました。



【木村哲也 九博副館長講話要旨】



はじめまして副館長の木村でございます。福岡県立アジア文化交流センター長として4月1日に着任いたしました。以来2ヶ月まだまだ博物館の事がよく解らないまま、前田理事長のおはからいで、「九博を愛する会」の皆様との初顔合わせの場を用意してくださったものと感謝しております。

県職員として39年間、労働・農業・環境・企画・東京事務所・総務などの各部門を歩いてきました。定年退職後に新たに4年間の期限限定職員として、博物館に勤めることになりました。これまでの県庁勤務を通して得た経験を活かし、行政面からの意図・県の諸策をよく理解し、博物館の運営へと有効に活かしていきたいと考えております。

先月、九博内の関係者連絡協議会が開かれ、今後のスケジュール等の話し合いが行なわれました。その席で三輪館長から「6月1日は愛する会の総会日、丁寧に対応するように・・・。」とのお話がありました。「愛する会」？ 愛する会の前身「支援する会」からの様々な資料を開いてみました。特に「博物館ボランティアに関する提言書」「九博開館後の支援する会の活動方針」などを読んでみて、あらためて筋金入りの市民支援団体なのだと認識を新たにしました。

先月の全国保存修復学会のご活躍を目にしましても同様に実感いたしました。一般に行政は事が発生しても直ぐに動き出せません。数年たって世の趨勢に従ってようやく取り掛かるという有様です。福岡県では4月に組織改革があり「新社会推進部」が発足しました。地域のボランティア活動と共生して文化の向上・生涯学習活動・人材育成を進めます。それに対して次の3つをお願いします。

- ① 愛する会の活動に、行政を巧く利用・活用していただきたい。
- ② 皆さんは私たちの活動をよく理解し、行政側の対応・改善を進言してください。
- ③ 愛する会は団塊の世代にとっても生きがい作りの指針になって頂きたい。

先日、愛する会会報誌「アクト3号」を見ておりましたら、特別展や今後のスケジュールについて、篤姫展・国宝天神さま展・伝統工芸展などが紹介してあり、その早耳には驚いております。愛する会の皆様には今後も広報活動を始め様々な面でご協力をお願いしまして本日の講話を終わらせて頂きます。

(紙面の都合上一部抜粋、省略して掲載させていただきました。)

木村副館長の講話の後、引き続き茶話会をいたしました。かしわのおにぎりとお茶・ジュース・駄菓子といった簡単なものでしたが、川添交流委員長の軽妙な司会で多くの方に挨拶や発言をしていただき、心温まるほのぼのとしたいい雰囲気での会でした。また、九博からは副館長のほかに森田学芸部長・本田課長・元永さん・須川さん・光安前副館長に転勤した糸井さんまでも総会からずっと参加していただきました。たいへんありがたいことでした。九博と共に様々な発信をしていきたいと思っております。

《 九博 特別展の見どころ 》

《特別展紹介》島津の国宝と篤姫の時代 —東京大学史料編纂所20万点の世界—



藤田 励夫(学芸部博物館科学課保存修復室長)

九州国立博物館では、東京大学史料編纂所の所蔵品を中心として「島津の国宝と篤姫の時代」を開催しています。

史料編纂所は、明治2年(1869)に明治政府太政官内の一部局として出発し、さまざまな変遷を経て東京大学内の研究機関となり今に至っています。我が国を代表する日本史研究のための編年史料集『大日本史料』などを編纂する目的で、明治時代から数多くの史料を収集してきました。その点数は20万点を超え、質・量ともにトップレベルにあります。九州国立博物館では、史料編纂所の建物の耐震工事に伴って、昨秋から20万点の史料を一時保管しております。これは、九州国立博物館が、今、我が国で最も安心できる収蔵施設を備えているからです。

この展覧会では、お預かりしている史料編纂所の所蔵品からよりすぐった史料に関連の作品を加えて100点(うち国宝49点、重要文化財18点)を展示します。展覧会は3章で構成され、第1章「島津家文書の世界」では、



国宝 薩藩勝景百図 (城山から眺めた美しい桜島)
東京大学史料編纂所 所蔵

鎌倉時代から幕末までの700年間にわたって南九州を支配した大名・

島津家に伝わった1万5千点を超える史料から優品を紹介します。島津家歴代の最も大切な古文書を集めた「歴代龜鑑^{れきだいまかかん}」や篤姫関連の史料など、その内容からは島津家700年の重みが伝わって来ます。

第2章「対外交流の至宝」は、九州国立博物館のテーマでもある対外交流に関わる優品が勢揃いしています。倭寇の姿を描いた唯一の絵画史料『倭寇図巻^{わこうずかん}』や文化元年(1804)に通商交渉のため来日したロシア使節レザノフの長崎来航を描いた絵巻、嘉永6年(1853)に浦賀へ来航したペリーの肖像など、画家たちの異文化への興味津々なまなざしが集約されています。また、対馬藩に伝わった、珍しい人形人參^{ひとがたにんじん}も美しい人參箱と共に展示されます。人參は対馬を通じての朝鮮からの高価な輸入品でした。

第三章「東大の名宝」では、室町時代一流の学者であった三条西実隆^{さんじょうしつざん}の自筆日記など、名宝の数々をご覧に入れます。

歴史学の研究は古文書などの史料を読み解くことによって深められてきました。味気ない教科書の丸暗記とはまったく違うモノです。史料を読むのは楽しいことですが、漢字やくずし字で書かれていて、なかなかとっつきにくいものです。このたびの展覧会では、専門家でなくても史料に親しめるよう、見どころや楽しみ方をパネルで紹介しています。この機会に国宝から直に学ぶ楽しみを感じ取ってみてください。

会 期：平成20年7月12日(土)～8月24日(日)

休館日：月曜日(ただし7月14日、21日、8月11日は開館)および7月22日(火)

《 九州国立博物館 イベント情報 》

開催日	時間	その他 条件	もよおし	会場	問合せ (※注1)
7月12日(日) ～ 8月24日(日)	9:30~17:00	観覧料	特別展 島津の国宝と篤姫の時代	九州国立博物館 3F	A
7月19日 (土)	13:30~15:00	要申込	特別展記念講演会 『島津の国宝と篤姫の時代』	九州国立博物館 ミュージアムホール	C
～ 7月21日 (月・祝)まで	9:30~17:00	観覧料	『新たな国民の宝』展 文化庁文化財展	九州国立博物館 文化交流展示室 第9室	A
7月26日 (土)	①13:00～ ②15:00～	申込なし	きゅうはくミュージアム コンサート	九州国立博物館 エントランスホール	A
7月27日 (日)	13:30 会場 14:00 開演	申込なし	太宰府市民吹奏楽団 まほろばコンサート	九州国立博物館 ミュージアムホール	B
8月8日(金) ～ 9月15日(祝)	9:30~17:00	観覧料	文化交流展・トピック展示 「変化する観音」	文化交流展示室 (4F)	A
8月10日 (日)	①13:00～ ②15:00	申込なし	きゅうはくミュージアム コンサート	九州国立博物館 エントランスホール	A
9月14日 (日)	未定	有料 金額未定	第10回九博朝日寄席	九州国立博物館 ミュージアムホール	D

(※時間、場所、内容等が予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。)

- ※注1 A・九州国立博物館ハローダイヤル 050—5542—8600 (8:00～22:00)
 B・九州国立博物館 交流課ボランティア担当 092—929—3289
 C・NHK福岡放送局 092—724—2843 (平日10:00～18:00)
 D・朝日新聞社 事業本部西部企画事業チーム 092—411—1137 (平日10:00～18:00)



九博豆知識

今年の夏休み子供・孫達に学芸員体験を！！

“あじっば”の奥に「なりきり学芸員」体験コーナーがあるのをご存知ですか。
 文化財(教育用資料)を直に手にしてじっくり観察し、気づいたことを調査カードに記入し、本物の展示具を使ってケースに展示する、学芸員の仕事の一部を40～50分で体験できるんです。
 九博の未来の学芸員、館長が誕生すると嬉しいですね。
 詳しくは“あじっば”スタッフにお尋ねください。

<事業報告>

純白の黒衣（くろこ）達

5月16・17・18日

「文化財保存修復学会」のボランティア活動



文化財保存修復学会代30回記念大会が太宰府市中央公民館と九州国立博物館で開催されました。「九博を愛する会」ではこの学会の活動を応援しようと、当日受付やシャトルバスの誘導・案内など総勢のべ約40名の会員が参加しました。

純白の「愛する会」のジャンパーを着て裏方として仕事を捌く会員の皆さんの姿はとても目立ちました。「心のこもった対応ありがたかった」という声もあり、皆様の九博を盛り上げようというお心がしみじみ感じられました。本当に三日間お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。



「愛する会」ジャンパーの後ろのマーク



「愛する会」ジャンパーを着ての受付

佐賀のやきもの巡り・・・目利きになりました！

日本を、世界を代表する佐賀有田を巡る文化財保存修復学会による焼き物の旅に「愛する会」から16名が参加しました。道中車内で九博の伊藤課長から古九谷論争の興味深い話を聞き、九州陶磁器文化館では鈴田先生から館内の展示品について面白おかしく・解り易くご説明いただき、焼き物の歴史や素晴らしい作品・珍しい作品を楽しみました。

天狗谷窯跡は1600年代、李参平により最初に磁器を焼いた窯と言われています。山の斜面に100m以上の巨大な登り窯が発掘再現されていました。

あの有名な柿右衛門窯も案内していただきました。「にごしで」の手法や「赤絵」の絵付けの技法の進歩の状況を古陶磁館で学ぶことも出来ました。

また、工房にも案内していただき、絵付けの作業場では30名以上の絵付師が息を凝らし、瞬きもせず一心に作業をしておられました。その繊細さ、正確さ、速さなど、これぞ手仕事の職人技にしばらく見とれておりました。

「愛する会」のおかげで個人的な旅では体験することが出来ない充実した内容の旅を味わうことができ、心洗われる一日でした。



天狗谷窯跡にて

ピッカ美化隊の活動



秋から寒い冬を過ごし春まで愛らしい花をいっぱい付けて人々を楽しませてくれた「ビオラ」達ありがとう。これからは、ポーチュラカの出番です。6月20日にみんなで苗を植えました。雨の中ご苦労様でした。

仲間らは 合羽はおりて もくもくと
ポーチュラカの苗を 花壇に植えり
梅雨最中 雨にもめげず 働きて
どの顔も皆 満ち足りてをり

炎天にも負けず可憐な花を付ける「ポーチュラカ」を楽しんでください。



館長より頂いた感謝状

< 掲示板 >

お誘い

::::一緒に旅行しませんか:::::

台湾故宮博物館の旅

旅行期間： 2008年9月9日（火）～9月12日（金）
旅行代金： ￥98,000（30名以上ご参加の場合）
￥ 8,545（空港税他必要経費）
旅行日程： 9月 9日（火）福岡（10：10） ⇒ 台北（11：25）
台北（13：15） ⇒ 高雄（14：10）
専用車にて高雄市内観光 高雄泊
9月10日（水）高雄（高雄歴史博物館等見学） ⇒ 台南
台南市内観光
台南（15：17） ⇒ 台北（17：00）
台湾料理夕食会 台北泊
9月11日（木）専用車にて台北市内観光 昼食飲茶
午後 「故宮博物館」見学
上海料理夕食会 台北泊
9月12日（金）台北市内観光
台北（16：20） ⇒ 福岡（19：25）

お申し込み・お問い合わせ： ANA セールス九州顧客販売部
☎：092-720-8588 担当者：斎木智信

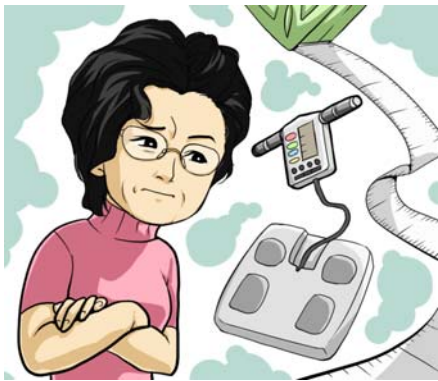
※細かいスケジュールは変更の可能性があります。



リレー随想

「メタボ？備蓄？健康第一！」

大坪 久仁子



ことし九州北部の梅雨入りは、関東甲信越地方より一週間余り遅くなった。これは地球温暖化による気象の乱れかと思ったら、1951年の観測開始以降5度あったとのこと。今年は1995年以来13年ぶりだそう。ところで日本での開催は8年ぶりとなる、北海道洞爺湖サミットでは、温暖化防止対策の温室効果ガス削減が大きなテーマとなるそうである。

CO₂削減は国を挙げての課題であるが、わたくし個人の目下の課題は、メタボ対策だ。市広報・健保組合や各メディアの情報で周知のように、4月から検診制度が変わった。内臓脂肪肥満に着目した特定健康診査で、メタボリック症候群の予備軍や該当者を見つけ、それらの人に特定保健指導で生活習慣改善支援を行なうという。

私が一番恐れている腹囲とBMI※でまず判断し、血統・脂質・血圧と喫煙のリスクにより、積極的支援・動機付け支援・情報提供などランク分けされた指導がある。もしかしたら私は該当者なのでは？と心配なこのごろである。

※BMI：体重(kg)÷身長²(m)

厚生労働省人口動態統計によれば、2007年日本人の死因は、

- ①悪性新生物(癌)329,314人
- ②心疾患173,024人
- ③脳血管疾患128,268人
- ④肺炎10,724人
- ⑤自殺29,921人…ちなみに交通事故は9,048人 他殺は580人となっている。

生活習慣病の予防は、その原因による疾患や障害の予防にもつながるんです。近くの、きらり薬局で教えていただいた生活習慣病予防のための「7つのキー」は、

- ①適正な睡眠時間
 - ②喫煙をしない
 - ③適正体重の維持
 - ④過度の飲酒をしない
 - ⑤定期的に運動する
 - ⑥朝食を毎日食べる
 - ⑦間食をしない
- とのこと。

これらを守り、検診等で早期に異常を発見し治療することで、健やかな老年を迎え、医療費の減少にもつながります。さらに、近くにかかりつけの医院と薬局があれば、もう万全です。

私も毎年ちゃんと検診を受け、耳の痛い項目も心して改善すれば、「九博を愛する会」の活動に参加する元気もすっかり確保できるかしら…。あー、なんだかうれしくなってきました。皆様、これからもよろしくお願いします。



ピッカ美化隊参加者募集！！

ごみを拾い、花を植えて、汗を流してみませんか？

毎月/第一月曜日・第三金曜日

西鉄太宰府駅コンコース集合！ 雨天中止です。

お問い合わせ先 井手良治 092-922-0083
今村次代 092-922-8235

編集後記

第一回総会もめでたく終わり、新体制が始まりました。所帯が大きくなると、それだけ相互のコミュニケーションが大切になります。適材適所、いいチームワークで楽しい活動をこれからも宜しくお願いします。